

高等学校 令和8年度（3学年用）

教科 家庭科

科目 家庭総合

教科： 家庭科

科 目： 家庭総合

単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ E 組

使用教科書：（ 家庭総合 実教出版 ）

- 教科 家庭科
- の目標：
- 【知 識 及 び 技 能】生活を主体的に営むために科学的な理解を図るとともに、 それらに係る技能を体験的に身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 家庭総合

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭、衣食住、消費や環境など、生活を主体的に営むために科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的に身に付けるようにする。	・家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定、解決策を構想・実践、考察するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。	・様々な人々と協働し、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第5章 食生活をつくる 1 節 人と食物のかかわり 【知識及び技能】 ・食事の意義を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日本の食文化形成および和食の特徴を理解する。	・教材（教科書・資料集） ・ワークシート ・一人1台端末を活用して、映像資料の確認や課題の配布を行い、学習活動を支援する。	【知識・技能】 各地の気候風土や宗教による食生活の違いについて理解するとともに、日本の食文化の特徴について理解できている。 【思考・判断・表現】 地域の食文化やそれが発展してきた背景などについて、書籍や家族などから情報を収集して調査内容をまとめることができる。	○	○		2
	2 節 私たちの食生活 【知識及び技能】 ・自身の食生活の現状把握と今後の課題を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・健康で豊かな食生活をはぐくむための気づきや工夫を理解する。	・教材（教科書・資料集） ・ワークシート ・一人1台端末を活用して、映像資料の確認や課題の配布を行い、学習活動を支援する。	【知識・技能】 食事の意義や役割について、食文化や食生活をとりまく環境から理解できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 食文化や自分自身の食生活について関心をもつとともに、自分や家族の食生活について意欲的に改善・向上に努めようとする。	○		○	4
	3 節 栄養と食品のかかわり 【知識及び技能】 ・栄養素の種類と働きやそれぞれの栄養素が多く含まれる食品についての基礎的な知識を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・食品の調理上の特性を知り、適切な調理を考える力を身につける。	・教材（教科書・資料集） ・ワークシート ・一人1台端末を活用して、映像資料の確認や課題の配布を行い、学習活動を支援する。	【知識・技能】 栄養・食品に関する科学的な知識や調理の技術を身につけ、それを実際の食生活に生かすことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 食品と栄養、調理との関係において、科学的な視点をもって、知識を深めようとしている。	○		○	5
	4 節 食品の選び方と安全 【知識及び技能】 ・表示の読み方を理解し、情報を正確に把握する。	・教材（教科書・資料集） ・ワークシート ・一人1台端末を活用して、映像資料の確認や課題の配布を行い、学習活動を支援する。	【知識・技能】 ・食中毒の予防法や、食品添加物の特徴をとらえることで、安全な食品について理解している。	○			3
	5 節 食事の計画と調理 【知識及び技能】 ・家族の食生活の計画と管理ができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・衛生と安全に配慮して、調理することができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・年齢や性別ごとに異なる一日に必要な食事摂取量と、それを満たすための食品の概量を理解する。	・教材（教科書・資料集） ・ワークシート ・一人1台端末を活用して、映像資料の確認や課題の配布を行い、学習活動を支援する。	【知識・技能】 ・栄養・食品・調理に関する基礎的な知識を生かしながら、家族の献立を作成することができる。 【思考・判断・表現】 ・調理実習において、作業の流れを判断しながらとりくむことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 調理実習においては、積極的に参加し、とりくもうとしている。	○	○	○	5
	6 節 これからの食生活を考える 【知識及び技能】 ・日本の食料自給率の現状を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日本の食糧事情を解決するためにできることをみつける。 ・情報に惑わされることなく安全な食品を選択できるようになる。	・教材（教科書・資料集） ・ワークシート ・一人1台端末を活用して、映像資料の確認や課題の配布を行い、学習活動を支援する。	【知識・技能】 ・日本の食料自給率の現状を理解している。 【思考・判断・表現】 現在の日本の食生活においての課題を調査などから発見し、解決の方法について、自分の考えをまとめることができる。	○	○		4
	定期考查			○	○		1

2 学 期	第6章 衣生活をつくる 1節 人と衣服のかかわり 【学びに向かう力、人間性等】 ・だれもが快適な衣生活を送るための要因を理解する。	・教材（教科書・資料集） ・ワークシート ・一人1台端末を活用して、映像資料の確認や課題の配布を行い、学習活動を支援する。	【主体的に学習に取り組む態度】 衣生活の文化や、自分の衣生活を取りまく状況について関心をもち、衣生活の改善・向上に積極的にとりくもうとする。			○	2
	2節 衣服の素材の種類と特徴 【知識及び技能】 ・衣服の加工技術について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・衣服素材の種類, 繊維の種類と特徴, 衣服素材の性能について理解し, 用途に応じた素材の選択ができるようにする。	・教材（教科書・資料集） ・ワークシート ・一人1台端末を活用して、映像資料の確認や課題の配布を行い、学習活動を支援する。	【知識・技能】 衣服の素材の種類や特徴について知識を身につけ, 用途に応じてどんな衣服が適切か理解できる。 【思考・判断・表現】 衣服の用途によって, 適切な衣服素材を考え, 判断することができる。	○	○		2
	3節 衣服の選択から管理まで 【知識及び技能】 ・衣服の表示にはどのような種類があるのか, なぜついているのかを理解し, 購入から洗濯などの管理に役立てる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・洗剤・漂白剤・防虫剤などの種類について理解し, 衣服の種類に応じた適切な選択や保管ができるようにする。	・教材（教科書・資料集） ・ワークシート ・一人1台端末を活用して、映像資料の確認や課題の配布を行い、学習活動を支援する。	【知識・技能】 衣服材料の性能と特徴, 衣服整理についての科学的な知識や, 縫製技術を身につけることによって, 衣服を適切に選択し管理することができる。 【思考・判断・表現】 衣服材料・衣服整理についての基礎的な知識を身につけ, 実生活での衣服管理において, 適切な判断ができる。	○	○		3
	4節 持続可能な衣生活をつくる 【知識及び技能】 ・私たちの衣生活が環境や世界とどのようにつながっているのかを理解する。	・教材（教科書・資料集） ・ワークシート ・一人1台端末を活用して、映像資料の確認や課題の配布を行い、学習活動を支援する。	【知識・技能】 不要となった衣類について, リサイクルに回す, 作りかえるなど, 実生活において実践することができる。	○	○	○	2
	6節 衣服をつくろう 【知識及び技能】 ・衣服製作を通して, 衣服の構成や基礎的な縫製技術を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・完成した作品に自分らしさを表現する力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・制作活動に意欲的に取り組む力を身につける。	・教材（教科書・資料集） ・ワークシート ・一人1台端末を活用して、映像資料の確認や課題の配布を行い、学習活動を支援する。	【知識・技能】 基礎的なミシン縫い・手縫いなどの縫製技術を身につけ, 日常着の作成ができる。 【思考・判断・表現】 ・自分らしく表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 衣服実習において, 製作活動に意欲的にとりくんでいる。	○	○	○	10
	第7章 住生活をつくる 1節 人間と住まい 【知識・技能】 ・住まいはどのような機能を持ち, 人の生活がその機能とどうかかわっているか理解する。	・教材（教科書・資料集） ・ワークシート ・一人1台端末を活用して、映像資料の確認や課題の配布を行い、学習活動を支援する。	【知識・技能】 住居の機能や気候・風土とのかかわりに関心をもち, 各地の気候・風土に適した住まいを理解している。	○			2
	2節 住まいの文化 【知識及び技能】 ・日本の住まいの変遷, 生活様式などを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日本の伝統的な住居の, 建築的な工夫や暮らしの工夫を見つける。	・教材（教科書・資料集） ・ワークシート ・一人1台端末を活用して、映像資料の確認や課題の配布を行い、学習活動を支援する。	【知識・技能】 日本の住まいの歴史や, 日本の住まい方の特徴について理解できる。 【思考・判断・表現】 日本各地の伝統的な住居について, 建築的な工夫を見つけることができる。	○	○		2
	3節 住まいを計画する 【知識及び技能】 ・ライフステージや住まう人の住欲求によって平面計画が変化することを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・快適な住まいについて考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・住まいの生活空間の機能を理解し, 空間の特徴や家族のイメージをすることができるようにする。	・教材（教科書・資料集） ・ワークシート ・一人1台端末を活用して、映像資料の確認や課題の配布を行い、学習活動を支援する。	【知識・技能】 ・家族構成やライフステージなどのかかわりから, 平面図を読み取ることができる。 【思考・判断・表現】 ライフステージと住空間の設計の関係, 住宅政策や住環境との関係について考えを深めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい住生活の創造にむけて意欲的にとりくもうとする。	○	○	○	2
	定期考查			○	○		1

3 学 期	4節 健康に配慮した快適な室内環境 【知識・技能】 ・健康的な室内環境をつくるためのさまざまな要素を理解する。 【思考・判断・表現】 ・安全で長く住み続けるために必要な適切な管理の方法を理解する。	・教材（教科書・資料集） ・ワークシート ・一人1台端末を活用して、映像資料の確認や課題の配布を行い、学習活動を支援する。	【知識・技能】 住まいの清掃やメンテナンスについても理解し、快適な生活につなげることができる。 【思考・判断・表現】 住まいの管理方法について、適切な掃除や頻度を考え、判断することができる。	○	○		3
	5節 安全な住まい 【知識及び技能】 ・家庭内事故や災害について学習し、安全な住まい環境について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・誰もが安全に住むための工夫を考える。	・教材（教科書・資料集） ・ワークシート ・一人1台端末を活用して、映像資料の確認や課題の配布を行い、学習活動を支援する。	【知識・技能】 住まいの安全対策，住まいにおける健康管理など，実生活に役立てることができる。 【思考・判断・表現】 ・安全な住まいづくりや，快適な住環境のためにどのような課題があるのか見つけることができる。	○	○		5
	第3章 高齢者とかかわる 1節 高齢社会に生きる 【思考力、判断力、表現力等】 ・高齢者，高齢社会への理解を世界の動向からも深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・高齢社会の現状を知り，身近な問題としてとらえられるようになる。	・教材（教科書・資料集） ・ワークシート ・一人1台端末を活用して、映像資料の確認や課題の配布を行い、学習活動を支援する。	【思考・判断・表現】 高齢社会の課題やその解決にむけて，新聞記事などを収集分析し，自分の考えをまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 高齢社会の現状，高齢者の心身の特徴や生活について積極的に知り，高齢者とかかわろうとしている。		○	○	3
	2節 高齢者を知る 【知識及び技能】 ・高齢者の心身の特徴や生活を客観的に理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・高齢期の心身の変化による生活行動の不安に気づき，改善をする。	・教材（教科書・資料集） ・ワークシート ・一人1台端末を活用して、映像資料の確認や課題の配布を行い、学習活動を支援する。	【知識・技能】 高齢社会の現状や高齢者の心身の特徴について理解している。 【思考・判断・表現】 ・高齢社会の現状や高齢者の生活を知ることにより，高齢者の自立した生活とは何か，自分の考えをまとめることができる。	○	○		5
	3節 高齢者の自立を支える 【知識及び技能】 ・要介護の高齢者に対して必要な心掛けを理解する。	・教材（教科書・資料集） ・ワークシート ・一人1台端末を活用して、映像資料の確認や課題の配布を行い、学習活動を支援する。	【知識・技能】 ・基礎的な日常生活の介助の方法について理解している。	○			2
	4節 高齢社会を支えるしくみ 【知識及び技能】 ・介護保険制度について理解する。	・教材（教科書・資料集） ・ワークシート ・一人1台端末を活用して、映像資料の確認や課題の配布を行い、学習活動を支援する。	【知識・技能】 ・高齢期を支える社会的な制度・しくみについて理解している。	○			2
	定期考査			○	○		
							70